科目名	业シ.フニ / 中野								
	光システム実験								
配 当 学 年	2年	必修・選択	必修	CAP制	対象 				
授業の種類	実験	単 位 数	2 単 位	授業回数	30				
授 業 担 当 者	吉本 直人、福田 小田 尚樹、唐澤 山田 崇史、張	誠、佐々木 愼也、 直樹、長谷川 誠、 公儉、小田 久哉	単位認定責任者	吉本 直人					
実務経験の有無	有								
実務経験のある教 員名および授業の 関 連 内 容	佐々木慎也 MATLAB は実務で使用していた。								
授業科目の概要	情報通信ネットワークを構成する物理層の基礎知識を修得することを目的として、光、回路、アナログ通信および制御に関する各種実験を行う。また、実験データの処理技術や作図技術を学ぶ。学生は7つのグループに分かれ、それぞれのグループは、7つのテーマを順に受講する。各テーマは2週にわたって受講する。								
授業科目の 到達目標	- 1.3 分光哭を用いて光のスペクトルお上び物質の屈垢薬を測定できる								
	項目	割合 評価:	方法						
	基礎学力	%							
	専門知識 70 % レポートの内容で評価する								
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	倫理観 %								
学修成果評価項目 (%)および評価方 法	主体性 30 % レポートの提出状況で評価する								
	論理性	%							
	国際感覚	%							
	協調性	%							
	創造力	%							
	責任感	%							
		授業	の展開						
1. 1. デジタノ	1. デジタル回路一1 (福田)								
	2. デジタル回路 - 2 (福田)								
	3. レーザ (偏光) - 1 (長谷川)								
	4. レーザ(偏光)-2 (長谷川)								
	5. 分光実験 1 — 1 (唐澤)								
	6. 分光実験 1 — 2 (唐澤)								
	7. 回路製作(キットの製作) 1 (張)								
	8. 回路製作(キットの製作) 2 (張)								
). テクニカルイラストレーション I (2 次元 CAD) 1 (吉本)								
	1 O. テクニカルイラストレーション I (2 次元 CAD) 2 (吉本)								
	1 1. MATLAB/Simulink プログラミングによるアナログ通信実験 -AM 変調(佐々木、山田)								
	1 2. MATLAB/Simulink プログラミングによるアナログ通信実験 -FM 変調(佐々木、山田)								

14. ロボット制御実験(ライントレース)-2 (小田(尚))								
15. 15. レポート指導								
授業外学修について	事前にテキストを読んでから実験に参加すること。 2週にわたって実験を行い、実験終了後に実験結果を実験レポートにまとめ、翌週に実験テーマ担当 教員にその実験レポートを提出する。レポートの再提出の指示を受けたら、その翌週に再度レポート を提出すること。							
教 科 書	光システム実験(売店で販売)							
参考文献	特になし							
試験等の実施	定期試験	その他の テスト	課題・ レポート	発表・プレゼンテ ーション	取組状況等			
	×	×	0	0	0			
成績評価の割合	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %			
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)							
試験等の実施、成績 評価の基準に関す る補足事項	7テーマのレポート提出がすべて完了して、この実験の単位取得が完了する。 実験が完了していないテーマについては、次年度再履修し、単位取得を目指すこと。							
	なお、再履修テーマが4テーマ以上の場合は、全テーマを再履修することとする。							

13. ロボット制御実験(ライントレース)-1 (小田(尚))

13.

(光システム実験)